

東陽中学校 R5 全国学力・学習状況調査結果について

1. 全体の課題

- ① ・自分で考えを整理し、明確に文章で表現する力に課題がある。
・長い問題文・選択肢を読み込む力の不足？
・中には単純な知識技能の問題が定着していない。

2. 各教科

【国語】

●無回答 20.0%以上の問題

- ・ 4三 現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く (無 28.1%)

●府平均との比較

-5.0%以上

- ・ 3二 漢字を書く (おし量って)
・ 3三 「『判じ絵』とは何か」と見出しを付けた部分について、内容のまとまりで文章が二つに分かれる箇所を選択し、後半に付ける見出しを書く
・ 4二 原文の中の語句に対応する言葉を現代語で書かれた文章から抜き出す (いと)

+5.0%以上 なし

<強み>

- ・ 2四 自分がこれからどのように本を読んでいきたいかについて、読んだ文章を参考にして知識や経験について触れながら書く問題 ⇒ 毎日の朝読書の成果 (大問2)
・ 語句の意味や歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す…等、知っていればできる問題◎

<課題>

- ・ 分類 知識及び技能 東陽 63.0% 府平均 68.9%
思考判断表現 B 書くこと 東陽 58.4% 府平均 62.1%
・ 短答式の問題で正答率が府平均より下がっている問題がある。
・ 根拠を明確にして記述すること。

【数学】

●無回答 20.0%以上の問題

- ・ 6 (2) はじめの数にかける数が2、たす数が6ならば、計算結果はいつでも3の倍数になることを説明する。(無 22.7%)
・ 6 (3) はじめの数にかける数がいくつ、たす数がいくつであれば、計算結果はいつでも4の倍数になるかを説明する。(無 37.8%)
・ 7 (2) 黄葉日が遅くなっている傾向にあることを主張することができる理由を、箱ひげ図に着目して説明する。(無 27.6%)
・ 9 (1) 証明問題 (無 24.3%)

●府平均との比較

-5.0%以上

- ・ 1 自然数を選ぶ
・ 2 数と整式の乗法の計算
・ 6 (1) はじめの数が11のとき、はじめにかける数が2、たす数が3のときの計算結果を求める
・ 6 (2) はじめの数にかける数が2、たす数が6ならば、計算結果はいつでも3の倍数になることの説明を完成する
・ 8 (1) 与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取る問題
・ 9 (1) ある事柄が成り立つことを構想にもとづいて証明する問題

+5.0%以上

- ・ 5 累積度数を求める問題。
- ・ 7 (1) 四分位範囲を求める問題。

<強み>

- ・ 学習指導要領の領域 D データの活用 東陽 51.7% 府平均 45.0%

<課題>

- ・ 「整数」、「空間における平面が1つに決まる」条件、など単純な知識技能の問題が定着していない。
- ・ 長い説明が読むことに課題。例示によって本来の問いを見失っている？問題設定を読み込む力。(6 (2)・(3))
- ・ 図表が表していることを文章化し、説明することに課題。

【英語】

●無回答率 20.0%以上の問題

- ・ 8 (2) 社会的な話題に関して読んだことについて、その考えと理由を書く問題。
(無 41.4%)
- ・ 9 (2) メールの英文を依頼する表現に置き替える。(無 37.1%)
- ・ 10 学校生活の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書く。(無 32.8%)

●府平均との比較

+5.0%以上

- ・ 1 (2)・(3)・2 リスニング (正確な情報を聞き取る)
- ・ 4 リスニング 短い説明の要点を捉える
- ・ 5 (1)・(2) 情報を正確に読み取る
- ・ 7 (2) 短い文章の概要を読み取る
- ・ 8 ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えをその理由を書く。
- ・ 9 会話の不足している語を補い、メールの英文を依頼する表現に書き換える
- ・ 10 上に同じ

+5.0%以上

なし

- <課題>・度数分布表を見ると、正答率が30%以下に学年の約半数が分布しているので中央値が6.0となっている。
- ・ リスニングで正確な情報を聞き取る力。
 - ・ 与えられた語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させること。
 - ・ 適切な表現を場面に合わせて正確に書くこと。
 - ・ 日常的な話題について事実や考えを整理し、まとまりのある文章を書くこと。

3. 今後必要なこと

- 事実や自分の考えを整理し、まとまりのある文章を書いたり、根拠を明確にして文章を書いたりするなどの授業展開を引き続き行う。
- 長い問題文も読み込む力の育成。
- 引き続き、知識・技能の定着。家庭学習 (e ライブラリなど) のしかけも同時に行う。